



ローリー シーク ファミリー：未だスターを作出 <後編>

Holstein Journal 2013 年 7 月

著：Bonnie Cooper

多数のロータミー娘牛の中で現在傑出しているのが、コムスター ロータミア ボルトン (VG87-2YR-1*) とコムスター ロータマ ゴールドウィン (VG88) である。彼女たちはその生涯においてカナダ GLPI カウリストのナンバーワンとナンバーツーの座をそれぞれ獲得した。珍しいことに、2 頭ともそれぞれの娘牛が昨年の GLPI カウリストで同じランキングを繰り返した。コムスター ロータミール プラネット (“プラネット (7H8081)” × ロータミア) がナンバーワンに、コムスター ロータマイ マンオーマン (“マンオーマン (14H4929)” × ロータマ) がナンバーツーになったのである。マーク コモトワが言うように、「ロータミアとロータマの子について私が最も驚かされるのは、彼女たちが既にこの品種の雌牛サイドに大きなスター達を生み出していることである。そして今度はロータミールとロータマイの娘牛や息牛、つまりローリー シークの八代目とロータミーの四代目が素晴らしいジェノミクスを持って現れ、世界中から高く求められるようになっている。」

コムスター ロータミア ボルトンは 2010 年 12 月にカナダで GLPI ナンバーワン雌牛になった。今日現在 GLPI+3161 で 31 位に付く彼女は、“ボルトン (29H11111)” 娘牛の中でカナダ最高のインデックスを持つ牛である。ロータミアは 2007 年のセール オブ スターズにおいて \$111,000 で取引され、一般オークションでの国内最高価格未経産牛になった。コムスターによって買い戻されて以降、彼女は 2 歳で乳量 17,747kg、脂肪 4.5%、蛋白 3.5% (383-463-413) を生産した。彼女の受精卵は多数輸出されてきた。彼女には 6 頭の息牛がシーメックスにいる。彼女の最初の娘牛 4 頭は皆 2 歳でベリーグッドを獲得し、5 頭目は 2 歳 GP84 である。

ロータミアの“プラネット”娘牛、コムスター ロータミール プラネット (VG85-2YR) はコムスターにいる。彼女は 2012 年 4 月にカナダの GLPI カウとしてナンバーワンになり、それによりこのファミリーにおいて GLPI もしくは LPI ナンバーワンの座を三代連続で獲得した牛になった。ロータミールは GLPI+3284 で現在 10 位にいる。素晴らしい乳器を伴った、体高・体長があるパワフルな牛乳生産牛である彼女は、2 歳で乳量 19,002kg、脂肪 4.0%、蛋白 3.4% (409-431-431) を搾った。ロータミールは「マニーメーカー」だとコモトワは言う。彼女は未経産時に三回採卵され、生産した 33 個の受精卵は日本、スペイン、デンマーク、そしてフランスへと輸出された。若い、高ジェノミック種雄牛数頭と交配され、彼女の子はこの先何年にも及んでコムスターの交配プログラムに優れた影響を与えるだろう。

ロータミールから直接産まれた唯一の娘牛、コムスター ロータミレット ローソリティーは 12 月に分娩予定である。“プラネット” (高能力種雄牛として有名) に“ローソリティー” (ロータミーの“ゴールドウィン (200H3205)” による弟で、体型改良で知られる) の掛け合せによって誕生した彼女は、「前途有望なプロジェクト」の 1 頭である。「彼女はまさしく、全ての世代において能力と体型を常に維持してきたコムスターの哲学そのものである」とコモトワは言う。



コムスター ロータミア ボルトン (VG87-1*)

コムスター ロータミー タイタニック (VG89-20*) から誕生したこの“ボルトン”娘牛は、先のナンバーワン GLPI カウである。現在 GLPI+3161 で GLPI カウリスト 31 位をコムスター ホルスタインにもたらす彼女には、シーメックスに息牛が 6 頭おり、4 頭のベリーグッド娘牛と 1 頭の 2 歳 GP84 娘牛がいる



コムスター ロータミール プラネット (VG85)

この“プラネット”娘牛は、ローリー シーク ファミリーにおける連続カナダ ナンバーワン GLPI/LPI カウの三代目である。現在 GLPI+3284 で 10 位をコムスター ホルスタインにもたらす彼女は、2 歳で乳量 19,002kg、脂肪 4.0%、蛋白 3.4% (409-431-431) を生産した

ローリー シーク ファミリー史上これまでで最も高い需要のある未経産の 1 頭が、ロタミアの“スノーマン”による娘牛コムスター ロータミーシャ スノーマンである。この 2011 年 9 月生まれの未経産は飛び抜けた体型と GPA LPI+3215 及び GTPI+2247 を持ち、この 9 月に“エンフォーサー (200H2870)”の子を産む予定である。彼女の 2013 年 3 月生まれの“マッカチェン (7H11477)”息牛はシーメックスに行くことが予定されており、また 2013 年 4 月生まれの“マスカリス (199H0178)”息牛はそのジェノミック評価を待っているところである。最も前途有望なヤングのジェノミック種雄牛で採卵されてきたロタミーシャには、この先数か月以内に多数の胸躍らされる仔牛が誕生する。

先に述べたロタミアの姉であるコムスター ロータマ ゴールドウィンは、ロタミーから誕生したベリーグッドの“ゴールドウィン”娘牛 5 頭の中の 1 頭である。ロタマは 2006 年のコムスター クラス エクストラ セールで 6 ヶ月の仔牛として \$45,000 でケベック州サン シルベール所在のファーム フレイランド S.E.N.C.のアンドレア & ハンスエリ フィッツによって購入された。最近までコムスターもまた、子や受精卵を多数販売してきたこの価値高い牛の一部所有権を持っていた。「我々はロタマの母ロタミーが持つ可能性を理由にロタマを購入した」とアンドレア フィッツは言う。「ロタミーは非常に素晴らしい乳器システムと十分な強さ、そして莫大な乳用性を持っていた。我々はこの牛を長い間チェックしていた。ロタマを購入した後、ロタミーはショウリングやインデックスの分野同様に、生産能力の面でも彼女が持つ価値を証明した。」フィッツは、彼らがロタマに投資した理由として彼女がローリー シークの一族であることも理由だと話す。「ローリー シークは我々皆の尊敬に値する。なぜならば、我々にとって彼女はホルスタイン品種の中で最も優れた牛だからだ。我々の牧場にはローリー シークの子孫が 86 頭おり、我々はこれからもこのファミリーを買い続けていく。なぜなら彼女たちは最も優れた可能性を持つ牛だからだ。」

ロタマは 2009 年 8 月から 2011 年 12 月まで GLPI カウ リストの上位 10 位以内に八度入った。彼女は二度二位に終わった。彼女は未だ状態が良く、6 歳で乳量 18,121kg、脂肪 4.8%、蛋白 3.5% (346-452-351) の予測である。受精卵移植プログラムの一部である「彼女は、常に高い遺伝子をその子孫に伝達し、それは彼女を我々にとっての素晴らしいブルード カウにする」とフィッツは言う。ロタマは今日までに 3 頭のベリーグッド、4 頭のグッドプラス娘牛を作出し、多くのより若い娘牛はこれからやってくる。彼女には 6 頭の息牛がシーメックスにいる。フレイランドにはロタマの娘牛が現在 9 頭いる。「我々にとって最も優れているのは、フローランド ロータマジック ミリオンだ」とフィッツは言う。「彼女は体格審査で 2 歳 VG85 を獲得し、乳量 12,992kg、脂肪 5.1%、蛋白 3.2% で BCA が 316-432-334 の予測である。これまでに彼女は 2 頭の美しい未経産を産んでくれている。」

恐らくロータマの最も著名な娘牛は、**コムスター ロータマイ マンオーマン (VG87-2YR)** だろう。昨年12月のGLPIカウリストにおいて第二位でデビューし、現在はGLPI+3369で第三位に位置する“マンオーマン”娘牛である。この特別な雌牛である彼女は、非常にファンシーで乳用性があり、完璧な肢蹄をしている。ロータマの娘であることからコモトワは、「彼女はホルスタイン品種のスター牛の一員になるだろう」と予想する。ロータマイは2012年のセールオブスターズでコムスターからメープルウッドファームズ(オンタリオ州ジャージービル)、オコナーランド&キャトルCo.(オンタリオ州エイジャックス)、そしてシルバーキャップホルスタインズ(オンタリオ州パスリンチ)に売られ、彼らは\$80,000の彼女をそのセールの掘り出し物だったと感じた。購入後、彼女は採卵プログラムにかけられ、受精卵の販売によって既に\$50,000以上をその新しいオーナーにもたらし、彼女の仔牛は1頭誕生し、その他多くの妊娠が進行中である。「彼女はもうすぐその支払いを済ますところだ」とメープルウッドの幸せなレンビズは言う。ロータマイはシーメックに2頭の息牛を送っており、最近になって乳量16,977kg、脂肪4.2%、蛋白3.4%(414-473-437)の2歳の乳量記録を終えたところである。

“ゴールドウィン”とロータミーの掛け合せによって誕生したもう1頭が、**コムスター ローテル ゴールドウィン (VG87)** である。彼女はウェイン&ジュディーウィッセリンクと、彼らの息子デュエーンとその妻シェリース、そして彼らの娘ニコールとその夫マークバークレイのウィッセルビューファームズ(ブリティッシュコロンビア州ピッツメドーズ)によって所有される。「私はロイヤルで2歳のロータミーを見て、雄大で長く乳用性のあるフレームをした彼女の姿に惚れた」とデュエーンウィッセリンクは言う。「ローテルは2009年のロッキーマウンテンハイセールで販売されており、ローリーシークが何年にも渡って遺伝伝達することを証明してきた素晴らしいファミリーであることを知っていた私たちは、ローテルに非常に興味があった。」ウィッセルビューファームズは、1歳牛のトップ公開価格\$27,000でローテルを購入することに成功した。彼女は2歳で乳量16,508kg、脂肪3.4%、蛋白3.4%(333-300-346)を記録した。ローテルは現在乾乳中で、7月に分娩予定である。「彼女は優れた乳房と、牛乳を生産する意思を伴った非常にバランスが取れた牛だ」とウィッセリンクは言う。「彼女は幅広い尻をし、体全体を通して幅がある。」ウィッセリンク一家は、優れた体型を持ち合わせる多数の高インデックス種雄牛で彼女を採卵している。「彼女から誕生した仔牛は皆同じ輪郭をしており、群れの中にも見分けることができる」とウィッセリンクは言う。「我々はローテルとその子に満足している。彼女はウィッセルビューファームズにとって非常に利益ある財産だ。」



コムスター ロータマ ゴールドウィン (VG88)

ファーム フレイランド S.E.N.C.によって所有される、コムスターロータミータイタニック (VG89-20*) から生まれたこの“ゴールドウィン”娘牛は、過去二度GLPIカウリストの第二位にランクした。彼女にはシーメックスに6頭の息牛がおり、また、既に3頭のベリーグッド、4頭のグッドプラス娘牛が存在する



コムスター ローテル ゴールドウィン (VG87)

コムスターロータミータイタニック (VG89-20*) 娘牛のベリーグッド“ゴールドウィン”娘牛5頭の内の1頭である彼女は、ウィッセルビューファームズによって1歳の時に購入された。彼女は2歳で乳量16,508kg、脂肪3.4%、蛋白3.4%(333-300-346)を生産し、多くの仔牛、妊娠、受精卵をこのオーナーにもたらした

ロータミーから誕生したその他3頭のベリーグッド“ゴールドウィン”娘牛もまた言及するに値する。ロータミー娘牛の中でこれまでに最も高い体格得点を記録したのがコムスター ローテリー ゴールドウィン (VG89) である。マーク コモトワの兄弟であるジェンコム ホルスタイン Ltd. (ケベック州ノートルダムデュボンコンセイユ) のマリオ コモトワによって所有されるローテリーは、3歳で乳量 18,357kg、脂肪 4.7%、蛋白 3.4% (320-400-329) を記録している。未だコムスターに居る“ゴールドウィン”娘牛が、乳量記録 16,087kg、脂肪 4.6%、蛋白 3.4% (347-432-371) のコムスター ローテリア ゴールドウィン (VG88-2YR) と、乳量記録 16,868kg、脂肪 4.9%、蛋白 3.6% (364-483-405) のコムスター ロータリア ゴールドウィン (VG85-2YR) である。



コムスター ロータマイ マンオーマン (VG87)

現在 GLPI+3369 で GLPI カウリスト第3位に位置する、コムスター ロータマ ゴールドウィン (VG88) から誕生のこの“マンオーマン”娘牛は、メーペル ウッド ファームズ、オコナー ランド&キャトル Co.、そしてシルバーキャップ ホルスタインズによって所有される

その他のスター

ローリー シーク ファミリーのその他の枝も“スター”を生んでいる。その“スター”の内の1頭が、レ091 バクスター モデル ルビス (VG87) である。この“バクスター (11H8195)”娘牛は、2011年4月及び8月にカナダ GLPI カウのナンバーワンをオーナーのファーム セント オーディル Inc.とファーム ジーンバプティスト ルページ&フィルズ Inc. (ケベック州リモウスキー) にもたらした。約10年前、ケベックのホルスタイン ブリーダー5人によるグループはそれぞれの牧場の為にしっかりとした遺伝子に投資することを望んだ。「コムスターが最終的に我々の選択になった。タイプと能力を伴うその深いカウファミリーが理由だった。注文の未經産牛が誕生した時、我々は抽選によってその雌牛を分けた」とファーム セント オーディルのバーバラ セントピエールは話す。彼らの購入牛の中で最も幸運をもたらしたのはコムスター モデル アイリス インカム (VG85-10*) で、彼女はオールカナディアンに二度ノミネートされた“ルドルフ (73H1965)”娘牛コムスター モデル レディー (VG89-22*) の“ペンビュー インカム (200H0040)”による娘である。このコムスター モデル レディーは、ローリー シークの“インスピレーション (72H0376)”娘牛 (VG87-5*) を母に持つ。アイリス インカムには“ゴールドウィン”娘牛レ091 ゴールドウィン モデル アイリス (EX90-3*) がおり、モデル アイリスは7頭のベリーグッド娘牛の母になった。彼女から直に産まれた最初の娘牛がルビスである。

「ジェノミクスの到来はルビスとその娘牛をリストのトップへ前進させた」と、セントピエールは言う。ルビスは初産時に VG87 になり、スーパーリャー ラクテーション※5の乳量 16,140kg、脂肪 4.3%、蛋白 3.2% (344-389-347) を生産した。現在 GLPI+3129 で GLPI カウ リスト 39位の彼女は、カナダにおける“バクスター”娘牛の中で最高のインデックスを持つ。彼女は8月に二度目の分娩を迎える。幅広く採卵されたルビスには21頭の娘牛がおり、その内6頭は GPA LPI+3000 以上を持つ。彼女には、人工授精所に行った、もしくはこれから行く予定の息牛が7頭存在する。ルビスがかつてナンバーワン GLPI カウだったのと同時に、彼女の“マンオーマン”娘牛セント オーディル マンオーマン モデル サファイアは2010年8月から2011年8月にかけてのカナダ ナンバーワン GPA LPI 未經産牛であった。サファイアは、カナダ国内でディレクト ジェノミック バリュウ (DGV) +4000 以上を持つ最初のホルスタイン未經産牛であった。初産の乳量記録 BCA294-374-323%が予測され、先ごろ VG85 になったサファイアは、この夏に彼女が記録される時には注目の一頭である。

「モデル アイリスの直系の子孫は70頭以上誕生しており、その内50頭は未だこの牧場にいる！」とセントピエールは言う。「この流れの娘牛は皆高能力牛で、搾乳するのが楽しみであり、健康で繁殖が良く、良い体型をして

いる。この様な搾乳牛が並ぶ列を持つのは本当に幸せなことだ！」とセント ピエールは興奮気味に話す。

マーク コモトワはまた、この流れの彼が非常に楽しみにしている若いメンバーをコムスターで所有する。彼女はコムスター モデル ラリカ ゴールドウィンで、彼女の三代前がコムスター モデル レディーである。この“ゴールドウィン” 娘牛は、2012 年シニアカーフの HM オールカナディアンである。「牛群を発展させカウファミリーを宣伝するにあたり、ショウは常に非常に重要である」とコモトワは言う。そして、それらが通常の広告やウェブサイト等と組み合わせると、カウファミリーに対する興味を高いレベルに維持する為の計り知れない効果を持つ手段になると、彼は付け加える。



Les091 バクスター モデル ルビス (VG87)

先の GLPI ナンバーワン カウで、カナダ国内で“バクスター” 娘牛中最高インデックスである彼女は、ローリー リーク ファミリーの七代連続ベリーグッドもしくはエクセレントを達成した。彼女はファーム セント オーディル Inc.と、ファーム ジーンバブティスト ルページ&フィルズ Inc.によって所有される

理論的なバランス ブリーディングによる成功

ローリー シーク ファミリーは“ジェノミクス”で成功し、繁栄し続けている。このファミリーがジェノミクスで好成績を示した時、マーク コモトワは驚かなかった。「それは偶然ではなかった。なぜなら我々はこのファミリーのジェノミックによる実績を長い間見てきたからだ。ジェノミクスは、」と、彼は続ける。「非常に価値ある道具だ。それは、これまでとは異なるペディグリーを持つ種雄牛を作出できる、新しいカウファミリーの紹介を可能にする。」しかし、コモトワがジェノミクスと共に素晴らしい成功を収め、次世代の種雄牛繁殖の為に人工授精所と協力し合う一方で、彼はコムスターとローリー シーク ファミリーを今日の場所へと導いた原則を放棄してはいない。

「我々は、我々の交配哲学を断固として持ち続けなければならない。理論的なバランス ブリーディングだ」と彼は言明する。「私はナンバーワンの未経産ではなく、ナンバーワンの経産牛が好きだ。なぜなら長期的な利益はそこにあるからだ！我々は種雄牛の母として正しい牛を生産する必要がある。」コモトワはまた、ヤングサイアーの息牛を使う時、非常に注意を払う。再び彼が言うように、「私は**バランス ブリーディング**を強く信じている。」コモトワは、ジェノミクスに対する業界の反応が“インデックス”が最初に導入された時のものに非常に良く似ていると感じる。

「インデックスがそうであった様に、ジェノミクスはビジネスに沢山の新しいお金をもたらす、新しく高い可能性を持つ仔牛をブリーダーに提供する。そしてそれは短期間においては非常に良いことだ。しかし最終的に勝利者として浮上するのは真のブリーダーだろう。」

コモトワは今日、ローリー シークの九代目と共にコムスターで働いている。「私を驚かすのは、彼女たちの発育、健康及び繁殖、そして、テストシート上で見るようになる前からコムスターでは重要だと常に考えられてきた様々な形質である。ブリーダーが良く知るように、こうした基準から全ては始まるのだが、我々はまた、体型に関して常に油断なくいなければならない」と彼は強調する。「これまであまり知られてこなかったカウファミリーから誕生した数々の検定済み種雄牛や、ヤングの GLPI 及び GTPI 種雄牛で、能力は容易に改良できるだろう。しかし揃った牛群を維持するためには、体型は特別な注意を必要とする。」

ローリー シークは 2004 年 4 月に 17 歳 4 ヶ月で亡くなったかもしれないが、彼女の遺産はコムスターのみならず、カナダ及び世界中の牧場で反響し続ける。「私はローリー シーク ファミリーと共に働いてきた近くや遠くにいる全てのブリーダーに感謝したい」とマーク コモトワは言う。「このファミリーと共に働く多くのブリーダーにとって、ローリー シーク ファミリーの将来は非常に前途有望である。より多くのビッグ スター達がこれから現れる！」●

※5 スーパーイアー ラクテーション：優れた能力を持つ雌牛に与えられる賞